

会 議 録

会議の名称		第6回守谷生まれの食品推進協議会		
開催日時		平成29年5月11日（木） 開会：午後2時00分　閉会：午後3時10分		
開催場所		守谷市役所 大会議室		
事務局（担当課）		生活経済部 経済課		
出席者	委員	西田会長，杉原委員，鈴木委員，石井委員，黒島委員，梅木委員，畠山委員 <div style="text-align: right;">計7人</div>		
	市職員	坂生活経済部長，宇田野生活経済部次長兼課長，間島課長補佐， 会見主査，染谷係長 <div style="text-align: right;">計5人</div>		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開 会 2 会長あいさつ 3 協議事項 ①ロゴマークの募集について（提案） ②地産地消の取り組みについて（報告） ③29年度事業計画について 4 閉 会		
確定年月日		会議録署名		
平成29年6月2日		会 長 西田昌明		

審 議 経 過

1 開 会

事務局：本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、今年初めての第6回守谷生まれの食品推進協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

会 長：本日は暑い中、そしてお忙しい中をご出席いただきまして誠にありがとうございます。前回、第5回の協議会が昨年10月4日にありまして、ちょっと間がありました。おそらく皆様方は過去の資料や第6回の資料に目を通していただき、自分の考え方をまとめてこられたと思います。皆様の積極的なご意見をベースに会議を進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。市からは坂部長をはじめ関係の皆さまにお越しいただいておりますので、よろしくお願ひいたします。

事務局：ありがとうございました。

会議を始める前に、資料の確認をお願いいたします。

第6回守谷生まれの食品推進協議会資料と縦A4の守谷市の地産地消・学校給食での取り組みチラシとなります。

さて、本日の協議会は、13名中7名の委員の出席をいただいておりますので、守谷生まれの食品推進協議会設置要綱第5条第2項の規定により、会議が成立することをご報告します。

また、本協議会は、守谷市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開となっております。本日は、傍聴はございません。

なお、本日の審議を記録するため、録音をさせていただきますので、ご了承ください。それでは、会議の進行は、会長をお願いいたします。

会 長：それでは、協議事項に入ります。

守谷生まれの食品のロゴマークデザイン募集について、事務局から資料の説明をお願いします。

3 協議事項

①ロゴマーク募集について

事務局：お手元の資料「第6回守谷生まれの食品推進協議会」と表題があります横向きの資料をご覧ください。

第6回守谷生まれの食品推進協議会の資料に基づき、守谷生まれの食品ロゴマークデザインの募集について説明

- ・ロゴマークの文字の必要性、マークだけの募集
さらに文字を入れる場合、文字は固定又は自由
- ・小中学生部門の実施

会 長：ありがとうございます。細かいところまで案の形ですが検討していただいております。個々について一つずつ検討をしていきたいと思っております。そんな手順でよろしいでしょうか。

了承

では、この後は事務局で進めていただきます。

事務局：まず、ロゴマークは文字を入れたデザインがやはり一般的ですが、入れる場合、自由にするのか或いは守谷生まれの食品と固定にするか、どちらかだと思っておりますが、いかがでしょうか。ご意見があれば伺いたいのですが。

会 長：ロゴマークとは必ず文字が入るものですか。

事務局：ロゴは一般的にロゴとマークでロゴマーク、ロゴは文字となります。

例えばロゴマークをお願いしますと言ったら、文字は何といれますかと質問をいただくことも想定されます。

会 長：文字を入れない場合、マークは何といいますか。

事務局：一般的にシンボルマークと言います。例えばアディダスなど。

やり方としては、マークだけでも可能として、文字は協議会でつける方法もあり得ます。良いデザインが欲しいならば、一体的なものとして応募した方がよいのでは。やはりマークだけですと、これから守谷生まれをお知らせするものなので、守谷生まれが入ってないとPRが難しいと思っております。文字に食品まで入れるのか、ここが一番難しいところだと思っております。

会 長：自由に皆さん方、発言していただいて結構です。

梅 木：きらめき守谷夢彩都のマークで、マークの部分を見ただけでは何のマークかわからない。きらめき守谷夢彩都の文字をみて、一体となり分かるようになる。例えば、東芝と書いてあってマークになっています。活字がマークになっているものもある。ですから、幅広く出してもらってよいのでは。玄関を狭めるのではなく、そこは自由にして良いと思っております。ただ、マークだけでも意味が分からないのは困るので、それは意味が理解できるものでないとまずいと思っております。

会 長：それぞれご意見を述べていただきたいと思います。

杉 原：理解できれば、シンボルマークがロゴマークが良いと思っておりますし、守谷生まれがはっきり分かれば良いと思っております。

石 井：お店でロゴマークがある色々な商品を見ておりますが、それで考えるとやはり字も入っていたほうが良いと思っております。これから守谷の商品でお土産を持っていく時など、このロゴがあれば相手方も分かるので、字は入っていたほうが良いかなと思っております。誰が見ても分かるようなものが良いと思っております。

黒 島：文字が全くない状態だと分かりにくくて、デザインだけで伝えるのは難しいと思うので、やはり文字はあったほうが良いのではと思っております。あと、作品を補正する等の注意書きが入っていれば、使っていく中で文字の中をいじりたい時に、場面場面で縦横で色々な使い方ができるのではと思っております。

鈴木：シールをつけた食品をイベントなどでよその地区に持って行った時、名前が入っていると分かりやすい。街中でも同じだと思います。

畠山：ロゴマークなので、やはり守谷生まれの食品が分かる言葉を入れたほうが良いと思います。ただ、気になるのが文字が長いので、全部入れてマークを作る場合、応募数が減るなど、デザインにも制約があるので、入れれば入れたほうが良いが、文字を入れるのは指定して、全部ではなく守谷生まれの食品が分かるような文字、食品が絵になっても良いような気がします。うちの住化ファームは、文字でロゴマークに統一しております。全部入れるのは指定しないほうが良いような気がします。

会長：皆さまありがとうございました。バトンタッチします。事務局お願いします。

事務局：ありがとうございます。基本的には対外的にも分かるような守谷の食べ物ですよと分かるものが最低条件かなと思いますので、守谷生まれと守谷生まれの食品の2択ぐらいの話をしているので、抽象的な書き方もあるかと思えます。内部的にも募集要項を最終決定していきますので、基本線はその線で作らせていただけたらと思います。ありがとうございます。

次に小中学生の子供達にマークのデザインをお願いすることですが、この要綱では子供達は理解できないと思いますので、やるとすれば別のチラシを作成して、守谷生まれの食品から周知し、各学校さんをお願いするスタンスになるかと思えます。要綱のあとに審査の話になりますが、学校にお願いすることは広く広がることありますが、作品もいっぱい集まって審査も非常に多くなることもありますので、実際に実施するかどうか、一番ご意見を伺いたいところです。前回の協議会でいただいたご意見で、予算化なり内容を検討してきましたが、実際の利活用も含めてご意見をいただかないと、特に最優秀賞と違って一般的にメインでやっていけないものを募集する形になるので、それを考えた上でやっていかないと、学校や子供達にも負担をかけ、あまりお答えできないとこちらも申し訳ないので、ご検討いただきたいと思えます。

梅木：いただきますには食育も入っている。いわゆる食育とは小中学生の給食を含めて食育、家庭での食育もあるので、その辺を一つの引き金的な使い方で、子供達も参加してもらおうと有りがたいなと思います。学校でやるとなると、教育委員会のバックアップも必要になるが、先ほどの点数の問題もあると思うので、例えばクラスで2つ3つ選んで出してもらおう、子供達が自分達で選ぶのも手法なのかなと思います。ですから、一人で何点もという訳にはいかないので大変な思いをしますので、絞り込みは学校と相談していただければと思います。是非、子供達が参加できるような環境になっていただけるとかなと思います。

資料をみると子供達は賞金になっていますが。

事務局：賞金ではなく、商品で図書券を予定しています。

先ほどいただいたご意見でも前回の意見でも同じですけれども、食育の部分もあって当然利活用方法は、こちらでご意見を伺った上で検討してご提示したいと思いますが、基本的にはやっていく線を進めてよろしいでしょうか？

了承

会 長：先ほどの話ですが、特産品の予算はいくらぐらいですか。

事務局：1人分税込み900円程度です。

相当ご協力をいただかないと、難しいかもしれません。お子様達の商品なので、例えば図書券を削って品物にも出来ますし、点数で逆に多く選ぶと選ばれた子が増えるが、逆に使い道として何種類も使わなくてはならないことが出てくるので、そこで絞ると倍の予算が使えるようになります。

梅 木：例えば優秀賞は、スポンサーをつけて、例えば守谷すたいる賞とかにすれば、守谷すたいるにお金を出してもらい、守谷すたいるの人が来て商品をプレゼントしてもらおう。優秀とか優良とかの問題ではなく、決して上下がないわけだから、商工会賞とか、スポンサーの冠をつけてやれば、良いと思います。住化ファーム賞とかあると思います。

事務局：ありがとうございます。前向きに検討させていただきます。

まず、一般の部は最優秀賞と優秀賞、1点だけで良いのではという話もありますが、基本的には一般募集と市内小中学生に募集をかけて賞を設けて、周知を図っていく方策もあわせてやっていく方向でよろしいでしょうか。それで事務局でもいただいたご意見をプラスして、案を作るなり、スポンサーであれば個別で相談させていただいて、やらせていただけるとありがたいです。

会 長：弾力的に対処していただければ、よろしいのではないかと思います。ここできっちり決めるのも難しいと思いますので。

事務局：基本的にはやるやらないの部分が一番重要だと思います。こちらでいただいたご意見をもとに案を作った部分です。

畠 山：小中学生の応募は大賛成ですが、一般の募集で小中学生もという形でされるのか。学校にお話をもって行き取り組んでもらうものか。どちらですか。

事務局：あくまで一般の参加資格で但し書きで小中学生と入れてあります。例えば年齢制限を設けて18歳以上とかでやる場合は何も言わないでしようが、不問であると子供が募集したい場合もあります。そうするとお子さんに募集が難しく、保護者が世話をやいてもらって募集していただかないとこちらも対応が難しいですから、そういったところを図っております。ですから、小中学生の募集は、別の申込方法で学校を通じていくので、学校の中でやっていくのであれば、保護者の同意は必ずしも必要ではないと思います。

そうしましたら、確認になりますが、基本的には食育も当然条例の目的にありますから、そういった観点からもやったほうが良いでしょう。対象は市内の小中学生で絞らせていただいて宜しいでしょうか。私立はできるのかどう

か、教育委員会に聞いてみないと出来ないものですが、学校のアポをとってみての結果になりますが、基本的に市内で宜しいでしょうか。

梅 木：私立は一般の部で玄関はあるわけだから、少なくとも守谷に集う子供達はまず食育の真ん中にいる人達だから良いのかと思います。

事務局：ほかにご意見がなければ、そういった方針で宜しいでしょうか。

最終的には内部決定し、皆さまにお知らせをして募集にはいりたいと考えておりますので、宜しいでしょうか。

了承

そうしましたら、4ページをお願いいたします。

審査方法案ですが、審査時期は募集期間が終了した後の審査となります。最速で8月と書いてありますが、一般の部を先行してやるのか、学校関係と合わせてやるのかによっては、学校の周知があるので、夏休みになると思います。その辺も踏まえて、若干予定より遅れると思います。9月頃が最速になるかと思います。審査方法は、募集して応募いただいた作品を審査となります。最終的には、市側で決定しなければならないが、市長、教育長、副市長、当然この協議会からの審査員参加でご意見を伺いたいのですが、協議会メンバー13人プラスそのそれ以外の人を含めると20名程度になると大所帯で審査がまとまるかというところもありまして、ここには数名としか書いてありませんが、例えば会長と副会長に代表として出ていただくとか、先ほどのスポンサーの方に入っていて、当然審査していただくこともあります。全員ではなく協議会の中で絞った形で審査をお願いすることになると思います。ご意見等はございませんか。他にその他の部分で、学校の美術の先生など、本当の専門家だとお願いするのが大変ですので、そこまでの想定はしていませんが、いかがでしょうか。

梅 木：審査員は何人を予定していますか。

事務局：考えれば、ベースが5～6人、そこにスポンサーが入っても10人以内。実際、抽象的な審査になるかと思います。マークですから、基準を設けることができません。協議会としては、メインの会議の委員さんですので、なるべく多くの人に入っていただきたいですが、状況からすると、会長、副会長にお願いするような形でよろしいでしょうか。なかなか、設定する枠がないので、市からお願いしているのは事業者や生産者の枠があるので、そこからお1人ずつという考えもあります。やはりそれなり的人数になってきますし、こちらで決めかねておりますので、この際ですのでご意見を伺いたいと思います。

会 長：なかなか難しいですね。

皆様のご意見を伺ってやるにしても基準を設けるのに、基準を作って発言されるとと思いますが、基準らしきものを自分で決めて人選しろと言われたら、お手上げですね。個々に話をするより、事務局でベースを作ってもらほうが早いと思います。

鈴 木：ある程度何点か選んでおいて、アンケートみたいな形で街の人に選んでもらう方法もあります。

畠 山：どれくらい集まりますか。

事務局：つくばみらい市のプレミアム商品はこの方法でやっています。

応募点数は不明

梅 木：図書館のマークは公募ですよ。

事務局：基本的には、審査員は協議会全員とはいかないので、方法とか審査員の数、実際に見に来られる方は委員さんみなさん来ていただいて、それを会長が取りまとめて審査もあるかなと思いますけど、その辺は具体的な検討をさせていただいて、お任せいただくような方向で宜しいでしょうか。

梅 木：協議会のメンバーで例えば、多ければここでフィルターを掛けてもらうとか、やり方だと思います。最終的な審査は6から7人で市長、教育長、会長、スポンサー2から3人のレベルでしょうから、それでいいと思います。その数によって協議会で審査をかけるかかけないかは、自由に出来る話だと思いますので、その点数が500点、1000点も来た場合は、一回協議会でフィルターをかける方法だと思うので、このメンバーであれば、終わらせられると思います。施行をするに至って協力をしてもらえる人だと思うので、応用のある審査にしておけば良いのではと思います。

事務局：点数が多くななくても、ここで審査するのではないが、応募数の報告など日時とスケジュールが合えばやる事が出来ると思いますので、検討させていただきます。

梅 木：市のロビーに貼っておいて、評価してもらうのも良いのではないかと思います。その辺は参考として、市民の声をシールとかで貼ってもらって、人気があるねとかフィルターのかけ方とかあると思いますので、それは点数によって出てくるので、それで調整したら良いのではないのでしょうか。

事務局：あわせて審査基準ですが、実際に応募作品にもよりますし、抽象的な部分になるのでここで議論というわけにはいかないもので、こういったところを審査していくことになります。利用方法については、まず新年度予算について報告いたしますと、ロゴマークを入れたのぼり、シールの作成を想定した予算を組んでおります。当然、予算上の話で数に限りはあるところですが、今後、ロゴマークを作ったら終わりではなく、作ってからが始まりなので、それをどういうふうに活用していきましようというところが一番重要なのかなと思います。今日だけではなく、今後、マークが決定するまでの間に事務局側でも案を出しますし、皆さまからご意見をいただいて、のぼりの使い道やどういう対象にのぼりをお渡しして掲示していただくのか、特に守谷生まれは範囲が非常に広いです。そうすると、それ全部対象にしてのぼりをだしてもらおうとなると、逆にぼやけてしまう場合があります。知らない人が、守谷生まれの食品を聞いたときに、この条例根拠のこういうことを想定するとは限らないわけですよ。原料を守谷の材料を使って作っているのか、いろいろ

る想像されると思います。その範囲を前提に動いてしまいますと、なんか話が違うのではと、事業所さんにもご迷惑がかかってしまう部分がありますので、対象をある程度考えなければいけないと思います。例えばですが、飲食店で調理されている、この概念からいうと守谷生まれの食品です。どこの材料を使っている。ですが、それをのぼりを出したり、メニューに守谷生まれとうたって、お客さんが、何が守谷生まれですかと言った時に、材料も何も使っていないと言ったら、それはおかしいと反感を買う部分が出てくるので、事業所の方も考えるところがあるかと思いますが、こちらもこちらで考えなきゃいけない部分があると思いますので、これから考えていこうと思っています。皆さん、ロゴマークの活用についてご意見があれば、随時伺いたいと思うところです。

会 長：いずれにしてもあと残っているのが、議題として事業計画についてです。ロゴマークが出来るのが9月にずれ込むとしたら、全体的なスケジュールも少し変えていかなければダメですよ。ここですぐ返答してくれじゃないですが、変更することがあると思うので、早めに連絡していただくと、それからロゴマークの選定はどういうスケジュールにするのかが大きなスケジュールの要素をしめますから、事務局に恐縮ですが、計画に落とし込んでもらって立ち位置のスケジュールを組んでいただけたらと思います。

事務局：個別に皆さんにお集まりいただくのではなく、募集内容、期間、審査の時期が見えてきましたが、皆さんに会議で集まるのではなく、お知らせするような形で進めたいと思います。その先も、活用もスケジュールに載せない形になります。それ以外の部分、地産地消、その他については、具体案が決まっておりますので、ご意見は随時、会議開催時には必ず伺いたいと思います。

具体的に募集の頃には、一度会議は開かせていただきたいと考えております。その時には当然利活用の案、案というかやり方、具体的にのぼりを作ります、シールを作りますとは考えていることなので、これはやり方です。それ以外のものは案としてあるかどうかと言うところですが、ある程度お示した上でご意見を伺いたいと思います。ただ、思いつく範囲で結構ですのであれば伺いたいと思います。なるべく、こちらで案を作るときに反映させていくのが良いのかなと思います。事前に伺えることはなるべく伺っておきたいので、よろしく願いいたします。実際、先ほどの予算上の話ですが、想定したのぼりの枚数は300枚ほどです。シールに関しては、大きさが違いますが、単に枚数だけだと28000枚です。ですから、活用方法によっては、もっとという場合もあるかもしれませんが、今想定しているのはそのくらいの数です。

会 長：今後のスケジュール、事業計画をお願いして、先に余韻を残して今日のところのお話しはまとまるかと思うのですが、事務局からお話しがありますでしょうか。

②地産地消の取り組みについて（報告）

事務局：あと1点、5ページになりますが、ご報告で、先ほどのチラシを昨年9月以降、保護者の方を対象に、給食の試食会などで配布させていただきました。実際、7小学校の保護者の方を対象に、約460人ほどが参加され、チラシを460枚ほどお配りいたしました。PR活動の一つとして実施させていただいております。また、学校給食ににんじんパウダーを使わせていただいたということで、もりあぐさんのご協力をいただきまして無償で提供いただきました。2月6日にいただき、3月1日と14日あわせて全児童、生徒ににんじんポタージュを、黒島先生にご尽力をいただきまして、提供させていただきましたのでご報告いたします。

会長：お子様方の給食に取り組めるのは、黒島先生のおかげです。ありがとうございました。

事務局：報告は以上になります。

事業計画については、今後、変更されると思いますので、変えたものを随時、みなさんにお渡しするような形で進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

会長：それでは会議を終わりにしたいと思います。何かもう一度質問なりあったら承りたいと思います。

無いようでしたら、それぞれご自分で会議の内容について思いを巡らし考えをまとめるのも良いのではないかと思います。お忙しいでしょうが、時間を作って次回の会議に臨んでいただきたいと思います。ありがとうございました。

4. 閉会

事務局：それでは、第6回守谷生まれの食品推進協議会を閉会いたします。
ありがとうございました。

